

桜台小だより

<http://www.sagamihara-sakuradai-e.ed.jp/>



〒252-0321
相模原市南区相模台7-7-1
TEL 042-742-3674
FAX 042-741-7991

学校長 遠藤 洋子
令和3年1月6日



令和3年(2021年)が始まりました。

今年の冬休みは期間が短く、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらのお正月ということで、親戚の人たちが集まって会食を楽しんだり、どこかに出かけたりすることが少なかったのではないかと思います。しかしそんな中でも、子供たちは明るく元気に登校してきました。保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

今年の干支は丑年。十二支の2番目の干支であることから、子年に蒔いた種が発芽して成長する時期とされ、まだ結果を求める時期ではなく、結果につながる道をこつこつと作っていく基礎を積み上げていく時期とされています。本校としても、将来子供たちが生きていくために必要な力が蓄えられるよう、感染症拡大防止対策を継続した中で、工夫しながら、一步一步着実に桜台小学校教育を進めていきたいと考えています。

昨年に引き続き、保護者の皆様、地域の皆様の桜台小学校教育へのご理解ご協力と子供たちへの温かい見守りをどうぞよろしくお願いいたします。



さて、本日の始業式では箱根駅伝の話をしました。

私の正月は駅伝を応援することが恒例となっています。順位に関係なく、たすきの重みと選手一人一人の活躍に感動の連続です。今大会では、優勝大学監督の「あきらめなければ何が起こるかわからない」という言葉が印象に残り、是非子供たちに伝えたいと思っていました。桜台小学校において「社会に生きて働く資質・能力」の5つの柱のうちのひとつ「粘り強さ(あきらめない心)」にあたります。あきらめてしまえばそこで終わりですが、もう少しだけ頑張る

ことで、予想以上の結果を生み出し、より一層の達成感を味わうことにつながります。また、結果は同じであったとしても、頑張りきったという気持ちよさは自分の中に残ります。その充実感はきっと次の活力になるはずです。これから3学期の目標を立てると思いますが、最後まで頑張りきってほしいと思っています。そして、ご家庭においては、子供が挫けそうになったときに、また前向きに取り組めるような言葉をかけていただけたらと思います。

3学期は非常に短く、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といわれるようにあっという間に学年末を迎えてしまいます。1~5年生の授業日数は53日、6年生は52日となります。6年生にとっては、小学校6年間の集大成としての卒業式を迎える大きな意味を持つ学期であり、他学年にとっても、今の学年のまとめをして、次の学年に向けての準備をする大切な時期でもあります。一日一日を大切に有意義な日々を過ごしてほしいと思います。